

平成25年度
病院経営調査報告

(平成25年5月状況調査)

平成25年10月

公益社団法人 全日本病院協会

医療保険・診療報酬委員会

平成25年度 病院経営調査 報告

1 調査目的

病院の経営収支の状況を把握することを目的とした。

2 調査客体

全日本病院協会会員病院を対象とし、平成25年5月時点の全会員2,437病院を客体とした。

3 調査内容

病院の一般状況及び収支状況について調査した。

4 調査期間

平成25年5月1日から5月31日までの間

5 調査方法

調査票を客体病院に送付し、自計記入後記名で返送された。

6 調査票の回収

回答病院数は831であり、回答率は34.1%であった。

調 査 結 果

1. 回答病院について

回答した831病院の内訳は次のとおりである。

表1 病院数、経営主体別

	病院数	構成比 (%)
総数	831	100.0
個人	14	1.7
医療法人	668	80.4
その他	149	17.9

表2 病院数、地域別

	病院数	構成比 (%)
総数	831	100.0
東京	77	9.3
政令指定都市	173	20.8
その他	581	69.9

表3 病院数、病床数別

病床数	病院数	構成比 (%)
総数	831	100.0
～49	47	5.7
50～99	207	24.9
100～199	315	37.9
200～499	226	27.2
500～	36	4.3

表4 病院数、DPC別

	病院数	構成比 (%)
総数	831	100.0
対象病院	232	27.8
準備病院	48	5.8
非対象病院	551	66.3

今年度より全会員病院を対象としたため、回答数は昨年より499病院増の831病院であり、回答率は34.1%（昨年度：55.3%）である。

回答病院のうち、DPC対象病院は232病院である。回答病院に占める割合は27.8%であり、昨年の29.8%と比較してもそれほど変わらない。

表5 病院数、病床数、病院種別

	病院数	病床数
総数	831	158,981
一般病床のみ	315	55,673
療養病床のみ	117	17,057
うち医療保険のみ	50	5,734
介護保険のみ	7	743
医療保険と介護保険併設	60	10,580
精神病床のみ	34	8,279
うち医療保険のみ	33	8,232
介護保険のみ	—	—
医療保険と介護保険併設	1	47
一般・療養病床併設	310	52,668
うち医療保険のみ	239	39,990
介護保険のみ	11	1,541
医療保険と介護保険併設	60	11,137
一般・精神病床併設	24	12,351
うち医療保険のみ	24	12,351
介護保険のみ	—	—
医療保険と介護保険併設	—	—
その他	31	12,953

注：結核病床を持つ病院は10で、結核病床数は244であった。また感染症病床を持つ病院は17で、感染症病床数は88であった。なお、表7には結核病床、感染症病床は一般病床に含めてある。

表6 病床数、病床種別

	総数	医療保険	介護保険
総数	158,981	149,449	9,532
一般病床	95,514	95,514	—
療養病床	42,407	33,054	9,353
精神病床	20,728	20,549	179
結核・感染症病床	332	332	—

全病床のうち医療保険は94.0%、介護保険は6.0%であった。
 病床種別病床数では、療養病床の22.1%が介護保険指定を受けている。

2. 病院の収支

表7 収支率、地域別

	医業収支率 (%)		総収支率 (%)	
	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年
総数	105.5	106.1	106.4	106.4
東京	101.6	107.7	103.5	107.8
指定都市	106.1	106.1	106.6	106.6
その他	106.1	105.9	106.9	106.1

総数で見ると、平成25年の医業収支率は、平成24年と比較して0.6%下がり、総収支率では横ばいである。

なお、東京については、医業収支率で6.1%、総収支率で4.3%と大幅に下がっている。

表8 病院数の%、医業収支率別

医業収支率	総数		東京		指定都市		その他	
	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年
総数	100	100	100	100	100	100	100	100
100%未満	23	21	31	24	22	19	22	21
100%以上	77	79	69	76	78	81	78	79

医業収支では、23%の病院が赤字であり、昨年(21%)より若干増えている。

地域別では、東京は31%の病院が赤字である。

表9 病院数の%、総収支率別

総収支率	総数		東京		指定都市		その他	
	平成25年	平成24年	平成25年	平成25年	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年
総数	100	100	100	100	100	100	100	100
100%未満	22	20	29	18	24	16	21	21
100%以上	78	80	71	82	76	84	79	79

表9は、医業収支以外の収支を加えた総収支についてみたもので、22%の病院が赤字である。

表10 病院数、医業収支率別、総収支率別

収支率 (%)	医業収支				総収支			
	平成25年		平成24年		平成25年		平成24年	
	病院数	構成比 (%)						
総数	831	100.0	332	100.0	831	100.0	332	100.0
～84	23	2.8	10	3.0	20	2.4	9	2.7
85～89	18	2.2	5	1.5	17	2.0	5	1.5
90～94	53	6.4	13	3.9	50	6.0	11	3.3
95～99	96	11.6	41	12.3	98	11.8	40	12.0
100～104	158	19.0	74	22.3	150	18.1	74	22.3
105～109	161	19.4	79	23.8	169	20.3	75	22.6
110～114	124	14.9	48	14.5	115	13.8	54	16.3
115～	198	23.8	62	18.7	212	25.5	64	19.3

表10は、医業収支、総収支の収支率を5パーセントの幅をもって病院数の構成比をみたもので、医業収支でみると収支率115%以上の病院が198であり、24%弱の構成比である。

表11 推計キャッシュフロー率、病院数別

キャッシュフロー (%)	平成25年		平成24年	
	病院数	構成比 (%)	病院数	構成比 (%)
総数	831	100.0	328	100.0
～-16	29	3.5	14	4.3
-15～-11	19	2.3	4	1.2
-10～-6	31	3.7	13	4.0
-5～-1	75	9.0	32	9.8
0～4	210	25.3	96	29.3
5～9	200	24.1	91	27.7
10～14	118	14.2	34	10.4
15～	149	17.9	44	13.4

表12 推計キャッシュフロー率、病院数の%、地域別

キャッシュフロー (%)	総数		東京		指定都市		その他	
	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0%未満	18.5	19.2	22.1	21.2	16.8	15.6	18.6	19.9
0%以上	81.5	79.8	77.9	78.8	83.2	84.4	81.4	80.1

今回は、推計キャッシュフロー率を下記の方法で計算した。

推計キャッシュフロー額＝総収支差額－（総収支差額×0.4）（注1）

＋減価償却額（注2）＋借入金収入額（注3）－借入金返済額（注4）

（注1）所得税推計額であり、総収支差額が赤字の場合は0とした。

（注2～4）平成24年度実績の1/12とした。

推計キャッシュフロー率＝キャッシュフロー額/総収入額

推計キャッシュフロー率は0%未満が総数で18.5%であった。

表13 収支率、病院種別

	回答数		医業収支率		総収支率	
	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年
総数	831	332	105.5	106.1	106.4	106.4
一般病床のみ	315	124	104.9	104.8	106.1	104.9
療養病床のみ	117	38	113.0	109.2	113.3	109.5
うち医療保険のみ	50	15	119.1	107.6	118.6	107.1
介護保険のみ	7	2	108.4	114.0	114.4	114.3
医療保険と介護保険併設	60	21	108.2	109.6	109.0	110.4
精神病床のみ	34	17	111.7	103.5	113.0	103.8
うち医療保険のみ	33	16	111.8	103.4	113.1	103.7
介護保険のみ	—	1	—	104.1	—	108.1
医療保険と介護保険併設	1	—	106.2	—	107.4	—
一般・療養病床併設	310	133	105.8	108.4	106.6	108.6
うち医療保険のみ	239	96	105.6	108.7	106.4	109.0
介護保険のみ	11	5	112.2	110.3	112.5	110.4
医療保険と介護保険併設	60	32	105.8	104.4	106.8	107.0
一般・精神病床併設	24	7	101.5	104.4	101.7	105.3
うち医療保険のみ	24	7	101.5	104.4	101.7	105.3
介護保険のみ	—	—	—	—	—	—
医療保険と介護保険併設	—	—	—	—	—	—
その他	31	13	107.6	105.9	107.7	106.2

「一般病床のみ」、「一般・精神病床併設」の病院は、医業収支率、総収支率とも全体平均より悪い。

表14 収支率、病床規模別

	回答数		医業収支率		総収支率	
	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年
総数	831	332	105.5	106.1	106.4	106.4
～49床	47	17	108.9	104.8	108.9	104.8
50～99床	207	88	106.4	106.7	106.6	107.8
100～199床	315	136	105.8	107.5	106.8	107.7
200～499床	226	80	106.1	105.6	106.6	105.7
500床～	36	11	103.0	104.6	105.2	104.6
(再掲)						
～199床	569	241	106.1	107.2	106.9	107.6
200床～	262	91	105.2	105.3	106.2	105.4

表15 収支率、DPC別

	回答数		医業収支率		総収支率	
	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年
総数	831	332	105.5	106.1	106.4	106.4
DPC対象病院	232	99	104.7	106.0	105.7	106.1
DPC準備病院	48	27	101.1	106.4	101.8	106.9
DPC非対象病院	551	206	107.6	106.2	108.4	106.7

DPC対象病院は昨年より医療収支率、総収支率とも悪くなっている。

表16 収支率、障害者施設等入院基本料・特定入院料（回復期リハ等）、在宅療養支援病院、算定・届出別

	回答数		医業収支率		総収支率	
	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年
障害者施設等入院基本料算定病院	75	29	102.8	104.8	103.7	104.6
回復期リハビリテーション病棟入院料算定病院	235	95	108.5	107.5	108.7	107.4
亜急性期入院医療管理料算定病院	239	109	105.9	105.6	106.2	105.9
特殊疾患病棟入院料算定病院	29	9	117.3	114.9	117.2	114.5
特殊疾患入院医療管理料算定病院	11	8	104.3	102.6	104.7	101.8
在宅療養支援病院届出病院	133	49	103.1	107.4	103.7	108.1

表17 1病院当たり金額の%、病院種別、収支科目別

	総数	一般のみ	療養のみ	精神のみ	(再掲)DPC
医業収入合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
入院	70.1	66.9	84.6	79.9	68.4
外来	24.5	27.4	9.0	17.5	26.5
室料差額	1.5	1.6	1.5	0.4	1.7
その他	3.8	4.1	5.0	2.2	3.4
医業支出合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
給与費	55.4	53.3	64.0	61.6	53.1
医薬品費	11.2	12.0	4.0	7.6	12.8
給食材料費	1.0	0.6	2.6	3.3	0.7
診療材料費	8.2	10.2	2.9	1.2	10.1
経費	11.3	10.5	14.3	15.0	10.1
委託費	6.2	6.4	6.7	6.3	6.2
減価償却費	5.3	5.6	4.6	4.2	5.6
その他	1.4	1.4	0.8	0.7	1.4

一般病院に比べ療養、精神病院は入院収入の比率が高く、また支出では給与費の比率が高い。また、医薬品費は一般病床で比率が高い。

表18 1病院当たり金額の%、地域別、収支科目別

	総数		東京		指定都市		その他	
	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年
医業収入合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
入院	70.1	70.2	63.3	67.5	73.4	70.9	70.4	70.4
外来	24.5	24.8	26.6	26.3	22.5	24.3	24.8	24.6
室料差額	1.5	1.5	4.4	3.4	1.2	1.3	1.1	1.3
その他	3.8	3.5	5.7	2.8	2.8	3.5	3.7	3.7
医業支出合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
給与費	55.4	56.2	55.5	59.0	55.6	55.0	55.3	56.1
医薬品費	11.2	11.3	11.5	9.7	10.5	10.6	11.4	11.7
給食材料費	1.0	1.0	0.8	0.8	0.9	0.9	1.1	1.1
診療材料費	8.2	7.6	7.5	7.5	9.4	8.1	8.0	7.5
経費	11.3	12.2	11.0	11.5	11.3	12.1	11.3	12.4
委託費	6.2	5.9	6.9	7.0	6.1	6.5	6.0	5.5
減価償却費	5.3	4.8	6.1	4.0	4.9	5.0	5.3	4.8
その他	1.4	1.0	0.7	0.3	1.3	1.7	1.6	0.9

地域別、収支科目別では、東京の室料差額が際立って高い。

表19 1病院当たり金額の%、病床規模別、収支科目別

	総 数		～49		50～99		100～199	
	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年
医業収入合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
入院	70.1	70.2	56.5	52.0	64.2	63.0	70.7	68.7
外来	24.5	24.8	37.3	43.3	29.9	30.3	23.9	26.3
室料差額	1.5	1.5	1.1	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
その他	3.8	3.5	5.0	3.4	4.5	5.2	4.0	3.6
医業支出合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
給与費	55.4	56.2	54.4	53.7	58.2	56.2	57.8	56.9
医薬品費	11.2	11.3	9.6	13.3	8.8	10.2	9.5	10.2
給食材料費	1.0	1.0	1.3	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1
診療材料費	8.2	7.6	9.7	7.8	7.0	5.7	6.7	7.3
経費	11.3	12.2	14.6	15.1	12.8	15.6	12.9	13.1
委託費	6.2	5.9	5.5	4.8	5.7	5.8	5.7	6.0
減価償却費	5.3	4.8	4.1	3.6	4.7	4.4	4.7	4.3
その他	1.4	1.0	0.8	0.3	1.5	0.9	1.5	1.1
	200～499		500～		～199 (再掲)		200～(再掲)	
	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年
医業収入合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
入院	72.5	73.6	68.1	71.3	68.5	66.9	71.1	72.9
外来	23.0	21.8	25.3	23.5	26.0	27.8	23.7	22.3
室料差額	1.2	1.5	2.7	1.9	1.4	1.4	1.6	1.6
その他	3.4	3.1	3.9	3.4	4.2	4.0	3.5	3.2
医業支出合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
給与費	55.1	57.1	51.7	52.8	57.7	56.6	54.0	55.8
医薬品費	11.8	11.1	13.4	14.3	9.3	10.3	12.3	12.0
給食材料費	1.0	0.9	0.7	1.1	1.2	1.1	0.9	0.9
診療材料費	8.8	7.7	9.4	9.4	6.9	6.9	9.0	8.2
経費	10.4	11.6	9.9	9.7	13.0	13.7	10.3	11.0
委託費	6.3	5.8	6.6	6.0	5.7	5.9	6.4	5.8
減価償却費	5.2	5.0	6.7	5.5	4.6	4.3	5.7	5.2
その他	1.4	1.0	1.4	1.2	1.5	1.0	1.4	1.0

表 2 0 病院数，一般病棟入院基本料・年次別

一般病棟入院基本料		平成 25 年 5 月						
		総数	① 7 対 1	② 7 対 1 (経過措置)	③ 10 対 1	④ 13 対 1	⑤ 15 対 1	⑥ 特別入院 基本料
平成 24 年 5 月	総 数	640	234	15	280	37	67	7
	① 7 対 1	213	211	2	-	-	-	-
	② 7 対 1 (経過措置)	17	4	13	-	-	-	-
	③ 10 対 1	288	19	-	267	2	-	-
	④ 13 対 1	42	-	-	9	33	-	-
	⑤ 15 対 1	74	-	-	4	2	67	1
	⑥ 特別入院基本料	6	-	-	-	-	-	6

表 2 1 医業収支平均比率，一般病棟入院基本料・年次別

一般病棟 入院基本料		平成 25 年 5 月					
		① 7 対 1	② 7 対 1 (経過措置)	③ 10 対 1	④ 13 対 1	⑤ 15 対 1	⑥ 特別入院 基本料
平成 24 年 5 月	① 7 対 1	104.8	111.8	-	-	-	-
	② 7 対 1 (経過措置)	101.4	105.5	-	-	-	-
	③ 10 対 1	105.1	-	104.9	109.5	-	-
	④ 13 対 1	-	-	110.6	105.1	-	-
	⑤ 15 対 1	-	-	111.1	108.2	105.1	118.7
	⑥ 特別入院 基本料	-	-	-	-	-	111.3

3. 平成25年調査と平成24年調査との比較

表22 平成25年調査と平成24年調査の比較

	平成25年	平成24年
調査客体数	2,437	600
有効回答数	831	332
有効回答率 (%)	34.1	55.3
1病院当たり許可病床数	191	181
1病院当たり1日入院患者数	158	149
病床利用率 (%)	82.6	82.2
1病院当たり月間外来患者数	5,542	5,183
医業収支率	105.5	106.1
医業収支率100%未満の病院の%	23	21
医業支出中の給与費の%	55.4	56.2
医業支出中の医薬品費の%	11.2	11.3
従業員1人当たり医業収入(千円)	914.3	889.0
従業員1人当たりの給与費(千円)	480.1	470.4
従業員1人当たりの付加価値(千円)	527.9	521.7
入院1人1日当たり金額 (円)	36,171	35,031
199床以下 (円)	31,809	31,619
200床以上 (円)	39,247	38,133
外来1人1日当たり金額 (円)	11,189	11,010
199床以下 (円)	9,487	9,991
200床以上 (円)	12,681	12,294
*付加価値率	0.577	0.587
*労働分配率	0.910	0.902

* 付加価値率 = (医業収入 - 医業費用 + 給与費) / 医業収入

労働分配率 = 給与費 / 付加価値 (医業収入 - 医業費用 + 給与費)

表 2 3 平成 2 5 年と平成 2 4 年の同一病院（2 7 7）の比較

	平成 2 5 年	平成 2 4 年
病床数	5 0, 7 4 8	5 0, 9 9 2
一 般	3 0, 5 1 3	3 0, 6 2 8
療 養	1 3, 3 9 1	1 3, 3 5 1
精 神	6, 7 3 7	6, 9 0 9
結 核（含感染症）	1 0 7	1 0 4
1 病院当たり許可病床数	1 8 3	1 8 4
1 病院当たり 1 日入院患者数	1 5 6	1 5 2
病床利用率（%）	8 4. 9	8 2. 4
1 病院当たり月間外来患者数	5, 3 1 4	5, 2 1 7
1 9 9 床以下	4, 0 8 3	4, 0 6 3
2 0 0 床以上	8, 6 9 1	8, 3 2 3
1 病院当たり医業収入（百万円）	2 4 2. 9	2 3 6. 5
医業収支率（%）	1 0 6. 1	1 0 5. 6
医業収支率 1 0 0 % 未満の病院の%	1 9. 1	2 2. 0
従業員数	7 5, 6 6 0	7 3, 7 0 9
医業支出中の給与費の%	5 6. 2	5 6. 2
医業支出中の医薬品費の%	1 1. 3	1 1. 2
従業員 1 人当たり医業収入（千円）	8 8 9. 3	8 8 8. 9
従業員 1 人当たり給与費（千円）	4 7 1. 4	4 7 3. 1
従業員 1 人当たり付加価値（千円）	5 2 2. 4	5 2 0. 0
入院 1 人 1 日当たり金額（円）	3 5, 4 5 1	3 5, 5 1 3
1 9 9 床以下（円）	3 3, 3 5 1	3 2, 2 2 8
2 0 0 床以上（円）	3 7, 2 9 0	3 8, 5 5 1
外来 1 人 1 日当たり金額（円）	1 1, 1 3 9	1 1, 0 0 0
1 9 9 床以下（円）	1 0, 1 9 7	9, 8 0 3
2 0 0 床以上（円）	1 2, 8 1 0	1 2, 5 7 2
付加価値率	0. 5 8 7	0. 5 8 5
労働分配率	0. 9 0 2	0. 9 1 0

表 2 3 は平成 2 5、2 4 年の両年で回答してくれた同一病院（2 7 7）の比較である。

総病床数は若干減少し、入院患者数及び外来患者数は微増である。

医業収入は若干増え、医業収支率は 0. 5 % 増えている。

入院 1 人 1 日当たりの金額は若干減少し、外来 1 人 1 日当たりの金額は若干増えている。

付加価値率、労働分配率はほぼ変わらない。

表 2 4 1 病院当たり金額の%、収支科目別（277病院）

	平成25年	平成24年
医業収入合計	100.0	100.0
入院	70.4	71.3
外来	24.8	24.2
室料差額	1.6	1.6
その他	3.2	2.9
医業支出合計	100.0	100.0
給与費	56.2	56.4
医薬品費	11.3	10.8
給食材料費	1.0	0.5
診療材料費	8.0	7.9
経費	11.2	12.1
委託費	6.2	6.5
減価償却費	4.9	4.6
その他	1.2	1.2

4. 調査結果の年次推移

表25 調査結果の年次推移（平成5年～平成25年）

	平成5年	平成7年	平成8年	平成10年	平成11年
調査客対数	392	363	527	539	500
有効回答数	143	154	157	168	259
有効回答率（％）	36.5	42.4	29.8	31.2	51.8
1病院当たり許可病床数	160	153	172	162	172
1病院当たり1日入院患者数	137	129	154	138	147
病床利用率（％）	85.6	84.8	89.5	85.3	85.6
1病院当たり月間外来患者数	4,545	5,375	5,636	5,452	5,851
医業収支率（％）	101.4	105.4	105.9	104.9	104.6
医業収支率100%未満の病院の％					
総数	36	23	16	24	24
東京	77	50	31	36	29
指定都市	58	35	20	27	20
その他	28	17	13	22	24
医業支出中の給与費の％	48.8	49.9	50.2	52.5	52.2
給与費が50%を超える病院の％	46	53	59	69	68
従業員1人当たり医業収入（千円）	813.5	783.5	871.9	846.7	875.0
従業員1人当たり給与費（千円）	391.4	370.9	413.2	423.9	437.1
従業員1人当たり付加価値（千円）	403.3	410.7	461.6	463.2	475.5
付加価値率	0.495	0.524	0.529	0.547	0.543
労働分配率	0.970	0.903	0.895	0.915	0.919

表25つぎ

	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年
調査客対数	500	500	500	500	500
有効回答数	262	275	238	275	251
有効回答率(%)	52.4	55.0	47.6	55.0	50.2
1病院当たり許可病床数	182	179	180	176	176
1病院当たり1日入院患者数	159	156	155	153	152
病床利用率(%)	87.3	86.9	86.1	86.9	86.4
1病院当たり月間外来患者数	7,065	6,513	6,755	6,287	5,723
医業収支率(%)	104.9	106.6	104.0	106.1	102.8
医業収支率100%未満の病院の%					
総数	23	20	30	19	24
東京	29	36	28	41	40
指定都市	14	23	32	26	22
その他	24	18	30	16	22
医業支出中の給与費の%	51.8	53.0	53.0	52.8	53.5
給与費が50%を超える病院の%	66	69	72	75	78
従業員1人当たり医業収入(千円)	927.9	932.8	920.4	919.0	887.2
従業員1人当たり給与費(千円)	458.5	464.0	469.1	457.9	463.5
従業員1人当たり付加価値(千円)	502.0	522.5	504.4	510.4	487.3
付加価値率	0.541	0.559	0.548	0.555	0.549
労働分配率	0.913	0.890	0.930	0.897	0.951

表 25 つぎ

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
調査客対数	500	500	500	500	500
有効回答数	265	226	288	288	298
有効回答率 (%)	53.0	45.2	57.6	57.6	59.6
1病院当たり許可病床数	181	179	172	173	175
1病院当たり1日入院患者数	158	152	147	146	146
病床利用率 (%)	87.3	85.6	85.4	84.2	83.9
1病院当たり月間外来患者数	5,606	5,600	5,412	5,094	4,995
医業収支率 (%)	104.4	103.7	104.2	102.3	104.3
医業収支率100%未満の病院の%					
総数	23	27	24	32	23
東京	47	61	42	54	33
指定都市	10	19	22	38	22
その他	23	24	22	28	22
医業支出中の給与費の%	54.1	53.9	53.7	54.3	55.3
給与費が50%を超える病院の%	77	79	78	80	83
従業員1人当たり医業収入 (千円)	896.3	876.2	880.6	875.4	853.2
従業員1人当たり給与費 (千円)	464.2	455.7	453.5	464.8	452.2
従業員1人当たり付加価値 (千円)	501.9	486.8	489.4	484.2	487.6
付加価値率	0.560	0.556	0.556	0.553	0.572
労働分配率	0.925	0.936	0.927	0.960	0.927

表 25 つぎ

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
調査客対数	600	600	600	2,437
有効回答数	335	360	332	831
有効回答率 (%)	55.8	60.0	55.3	34.1
1病院当たり許可病床数	175	181	181	191
1病院当たり1日入院患者数	148	152	149	158
病床利用率 (%)	84.9	84.2	82.2	82.6
1病院当たり月間外来患者数	5,001	5,112	5,183	5,542
医業収支率 (%)	106.7	105.5	106.1	105.5
医業収支率100%未満の病院の%				
総数	20	23	21	23
東京	35	28	24	31
指定都市	16	16	19	22
その他	19	21	21	22
医業支出中の給与費の%	55.9	56.4	56.2	55.4
給与費が50%を超える病院の%	83	87	87	86
従業員1人当たり医業収入 (千円)	888.0	867.9	889.0	914.3
従業員1人当たり給与費 (千円)	464.9	463.7	470.4	480.1
従業員1人当たり付加価値 (千円)	520.7	508.9	521.7	527.9
付加価値率	0.586	0.586	0.587	0.577
労働分配率	0.893	0.911	0.902	0.910

5. 平成25年度調査結果からみた病院の経営状況

表26 総収支状況別、病院数の%、病床数別

病床数	赤字病院の%	黒字病院の%	付加価値率(%)	労働分配率(%)
総数	22.4	77.6	57.7	91.0
～49	23.4	76.6	58.1	86.0
50～99	26.6	73.4	60.7	90.0
100～199	22.2	77.8	60.1	90.8
200～499	19.0	81.0	57.7	90.0
500～	19.4	80.6	53.1	94.5
(再掲)～199	23.9	76.1	60.2	90.4
(再掲)200～	19.1	80.9	56.3	91.3

表27 総収支状況別、病院数の%、地域別

	赤字病院の%	黒字病院の%	付加価値率(%)	労働分配率(%)
総数	22.4	77.6	57.7	91.0
東京	28.6	71.4	56.2	97.2
指定都市	23.1	76.9	58.2	90.1
その他	21.3	78.7	57.9	90.1

表28 総収支状況別、病院数の%、病院種別

	赤字病院の%	黒字病院の%	付加価値率(%)	労働分配率(%)
総数	22.4	77.6	57.7	91.0
一般病床のみ	26.0	74.0	55.5	91.6
療養病床のみ	15.4	84.6	68.2	83.1
精神病床のみ	17.6	82.4	65.7	84.0
一般・療養	22.6	77.4	60.2	90.9
一般・精神	29.2	70.8	51.9	97.2

表29 総収支状況別、病院数の%、経営主体別

	赤字病院の%	黒字病院の%	付加価値率(%)	労働分配率(%)
総数	22.4	77.6	57.7	91.0
個人	28.6	71.4	54.1	92.3
医療法人	20.7	79.3	59.5	89.3
その他	29.5	70.5	54.1	94.6

6. 平成25年度調査結果の総括

- 本年より、客体数は500病院抽出より全会員病院（2,437病院）と変更した。回答病院は831病院、回答率は34.1%あった。
- 経営主体では医療法人（80.4%）、病床数では100～199（315病院）が多かった。DPC対象病院は、232病院（27.8%）、準備病院は48病院（5.8%）であった。病床種別では、一般病院のみが315病院、一般・療養病床併設が310病院と多かった。
- 医業収支率は、総数105.5%と昨年より0.6ポイント悪化している。東京（77病院）では101.6%と昨年より6.1ポイント悪化していた。東京が悪いのは、例年の状況であり、むしろ昨年が特例である。医業収支における赤字病院は、総数23%、東京31%であり、昨年より悪化傾向がある。
- 病床種別では、一般病床のみ、一般・療養併設、一般・精神併設に悪化傾向を認める。病床数別では、～49床が回復、500～が悪化を認めた。DPC対象病院は、非DPC病院より収支率が悪い。障害者施設等入院基本料算定病院の収支率は悪く、特殊疾患入院医療管理料算定病院では良い、等の傾向を認めた。
- 看護基準は7:1が増加傾向にある。収支状況に大きな差はない。
- 平成25年、24年同一病院の結果では、医業収支率が若干回復していた。また、従業員数の増加が認められる。
- 例年、診療報酬改定のある年では収支状況が悪化し、翌年持ち直す、という傾向があったが、平成23年、平成25年は診療報酬が無いにもかかわらず悪化を認めた。その原因は明らかではない。今後、基準看護（7:1）、亜急性期入院医療管理料、等の算定基準に大きな変更が起こる可能性が高く、平成26年診療報酬改定について留意する必要がある。

以上